

内分泌代謝・血液・老年内科学

Bedside-to-Bench

Bench-to-Bedside

臨床マインド，研究マインドを持つ
generalist かつ 専門医を育てる

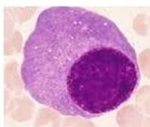
<http://www.m.chiba-u.jp/dept/clin-cellbiol/>

血液分野（堺田グループ）

血液分野では多くの造血器腫瘍に関する病態解明、新規治療開発を目標に、基礎研究/臨床研究に取り組んでいます

研究対象疾患と主なテーマ

- ・形質細胞性疾患
- 多発性骨髄腫の腫瘍免疫解析
- 多発性骨髄腫におけるT細胞応答の回復治療
- POEMS症候群の病態解明
- アミロイドーシス網羅的遺伝子解析
- ・白血病
- 自然免疫シグナルから迫る白血病分子基盤研究
- ・悪性リンパ腫
- 遺伝子解析による予後層別化・新規治療法の開発、より簡便なパネル検査の確立に関する研究



県内の千葉大学血液内科関連施設と連携して研究を行っています

医師主導前向き試験、日本成人白血病治療共同研究機構（JALSG）や関東造血幹細胞移植共同研究グループ（KSGCT）、日本造血・免疫細胞療法学会、日本骨髄腫学会データベースを用いた臨床研究にも積極的に取り組んでいます。

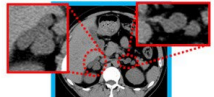
POEMS症候群に対する移植治療の有用性を検証する全国調査研究（日本造血・免疫細胞療法学会研究）、骨髄腫患者における採取不良例の全固後方視的検討（日本骨髄腫学会研究）、移植前処置の適正化に向けたKSGCT original dataを用いた非再発死亡の検討（KSGCT） など

指導担当：堺田恵美子 准教授 esakaida@faculty.chiba-u.jp
三村尚也 講師、竹田勇輔 助教、塚本祥吉 助教、大島浩 助教

内分泌分野（鈴木グループ）

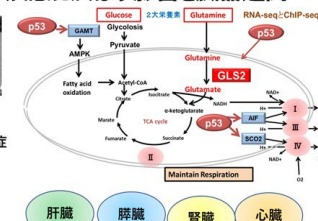
副腎疾患の新たな分子病態解析

Primary Macronodular Adrenal Hyperplasia



褐色細胞腫
クッシング症候群
原発性アルドステロン症

グルタミン代謝が
疾患に及ぼす影響と臓器連関

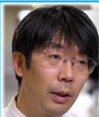


どのような遺伝子異常、エピジェネティックな変化、環境・代謝変化が起こり、ホルモン産生や腫瘍形成に影響を及ぼすか？

グルタミン代謝は多彩な生理作用を介して疾患にどのような影響を及ぼすか？
—マウスを用いて解明する—

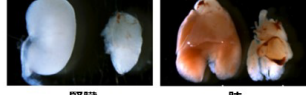
指導担当：鈴木佐和子 講師 sawakosuzuki@chiba-u.jp

合併症・老化分野（前澤グループ）

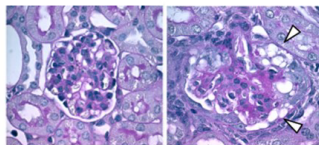


転写因子Tcf21の
糖尿病合併症における役割

Tcf21の欠損で臓器発生が障害される
野生型 Tcf21 KO 野生型 Tcf21 KO

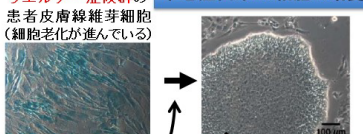


Tcf21を腎臓サイトで欠損させると
糸球体障害が生じる

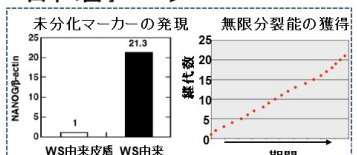


老化の仕組みの解明

早老症由来iPS細胞の培養



山中4因子

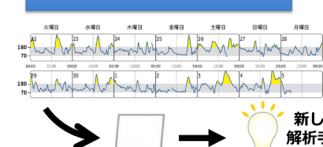


指導担当：前澤善朗 講師 yoshiromaezawa@chiba-u.jp

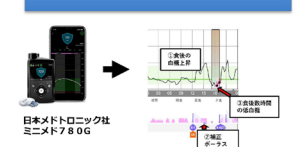
糖尿病分野（熊谷グループ）

糖尿病分野の臨床研究に取り組んでいます

持続血糖モニターから得られる
データの新たな活用法の探索



最新のインスリンポンプ療法の
データ解析と実臨床への還元



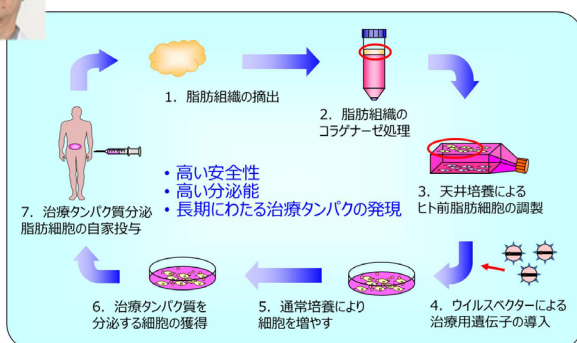
その他のテーマ

- ・妊娠中の糖代謝異常
- ・1型糖尿病
- ・免疫子エックポイント阻害薬に関連した糖尿病
- ・脾臓関連自己抗体とHLA

指導担当：熊谷仁 助教 kumaj@chiba-u.jp

細胞治療分野（黒田グループ）

改変脂肪細胞による遺伝子細胞治療/再生医療



疾患の病態解明研究 → 改変脂肪細胞技術による新たな治療法の創生

指導担当：黒田正幸 特任准教授 kurodam@faculty.chiba-u.jp